

本論文を構成する研究の発表状況

本論文の各章は、以下の4編の学術論文(うち1編は、印刷中)、修士論文、および学会発表論文の一部として発表している。また、学術論文の内容は、学会発表も行っている。

学術論文 (4編)

14. 久保田健市 1997a. 社会的カテゴリー化により導入された少数派,多数派および第三者の集団間差別行動と認知 心理学研究, **68**, 120-128.

～研究5(第8章),研究6(第9章)

15. 久保田健市・堀 洋道 2000. 社会的カテゴリーの多次元的分析 筑波大学心理学研究, **22** (印刷中) ～研究1(第6章)

16. 久保田健市・吉田富二雄 1995. 少数派および多数派集団の集団間差別と態度の類似性 社会心理学研究, **11**, 116-124.

～研究4(第8章)

17. 吉田富二雄・久保田健市 1994. 社会的カテゴリー化による少数派および多数派集団の集団間差別行動 心理学研究, **65**, 346-354.

～研究2,研究3(第7章),研究7(第10章)

修士論文

1. 久保田健市 1995. 社会的カテゴリー化により導びかれた少数派,多数派および第三者の集団間差別行動と認知—最小条件集団パラダイムを用いて— 平成7年度筑波大学博士課程心理学研究科修士論文
～研究5(第8章),研究6(第9章)

学会発表 (6編)

1. 久保田健市 1995. 社会的カテゴリー化により導かれた少数派,多数派および第三者の集団間差別行動と認知—最小条件集団パラダイムを用いて— 日本心理学会第59回大会発表論文集, 148.
～研究5(第8章),研究6(第9章)
2. 久保田健市 1997. 少数派および多数派集団の集団間差別行動と移行可能性 日本社会心理学会第38回大会発表論文集, 338-339.
～研究9(第11章)
3. 久保田健市 1998a. 社会的カテゴリー化基準の多次元的分析 日本グループ・ダイナミクス学会第46回大会発表論文集, 180-181.
～研究1(第6章)
4. 久保田健市 1998b. 集団サイズ格差の変化と少数派および多数派集団の対転向派差別行動—最小条件集団パラダイムを用いて— 日本社会心理学会第39回大会発表論文集 362-363.
～研究8(第10章)
5. 久保田健市・吉田富二雄 1994. 少数派および多数派集団の集団間差別行動と態度の類似性—最小条件集団パラダイムを用いて— 日本心理学

会第58回大会発表論文集, 158.

～研究4(第8章)

6. 吉田富二雄・久保田健市 1993. 社会的カテゴリー化による少数派および多数派集団の集団間差別行動—最小条件集団パラダイムを用いて— 日本心理学会第57回大会発表論文集, 158

～研究2,研究3(第7章),研究7(第10章)